

Q. 駅前図書館の民間委託に反対する

A. 指定管理にしても効果的運用と利用促進はできる



ここを聞きました

- 大飯原発の運転差し止め判決をどのようにとらえるか
- 図書館について
- 幼・保一体化について
- 高齢者、障害者支援のため、家庭ごみの戸別収集を始めるべきではないか

中央図書館機能が発揮できるのか

石部 中央図書館を含めた複合施設を民間委託とするのか。

教育次長 基本的には直営で進めるとしてはいたが、市長からの提案で指定管理も検討している。

石部 にぎわいを求める駅前機能の中で、中央図書館機能が発揮できるのか。また、市民に使いやすい施設になるのか。

教育次長 指定管理にしても効果的運用と利用促進ができる。

石部 教育委員会の独自性が発揮されるべきだが、市長部局が「駅前のにぎわいを」と口出ししてきたことが、現場や市民に萎縮や混乱を引き起こしてきたのではないのか。

政策監 図書館の機能については

教育委員会で十分研究している。**幼・保一体化でサービスが低下しないように**

石部 幼・保一体化で現行の保育所・幼稚園の基準やサービスが低下しないか。

健康福祉部長 有漢、川上については平成27年度から始める予定で、話し合いをしている。保育料や職員体制など心配もあるが、国の方針に従って進めたい。

「ごみ出し困難者に戸別収集を

石部 高齢者・障害者などのごみ出し困難者のために、行政として戸別収集を始めるべきだ。

健康福祉部長 今後ますます困難者がふえると予測される。地域ボランティアの活動を促進する。

Q. 周辺部の衰退は、市全体の衰退につながる

A. コミュニティー維持対策を検討する



ここを聞きました

- 町内会組織の維持運営について
- 公共施設の維持管理について

公共施設の維持管理について

内田 公共施設の維持管理、修繕等、将来に向けての対策として基金を設けている自治体もあるが、本市においても取り組む必要性はないか。

総務部長 総合管理計画によって管理し、大規模修繕は有利な財源を利用したい。基金については、今後検討したい。

内田 施設の維持管理の財源が減少する市としては、内部での経費を少なくすることに取り組むべきと考える。そのために公共施設の維持管理費を一括して管理する部署を設置してはどうか。

総務部長 理財課において、集中管理、一括購入等を考えていきたい。

Q. 「教育改革」による教育への政治支配を許すな

A. 子どもの教育権をしっかりと擁護する



ここを聞きました

- 本市農業の展望について
- 教育委員会制度と教育内容について
- 集团的自衛権行使容認について

教育委員会制度の変更について

難波 今回の法改正では、首長が教育長を任命し教育委員会のトップに置くこととなり、これは委員会の独立性を奪い首長の政治介入が強まると思うがどうか。

教育長 首長参加で教育方針を定めるので懸念はされているが、首長と教育委員との協議の場がふえる好機である。首長の思いで教育が変わることのないよう委員会が行う。

難波 「異常な競争主義教育の持ち込みで点数がすべて」という教育は行わないよう求める。

教育長 競争主義・点数が全てという教育はやっていない。

集团的自衛権容認反対を

難波 本市の若者・自衛隊員が海外の戦場で殺し殺されてはなら

ず、憲法9条も武力行使を認めていない。これを守って集团的自衛権を容認しないよう国へ要請を。

政策監 国民の命を守る安全保障政策は必要だ。どうするか国で考えるべきもので集团的自衛権は国が決めることだ。

本市農業の展望について

難波 本年からコメの直接支払交付金が半額になる。市で補填できないか。また飼料米販売の確保や最高収穫量確保はできるのか。

産業経済部長 コメの交付金の補填はできない。飼料米販売は農協だ。多収量品種もある。

難波 中山間直接払い制度の交付金増額と継続を国に要請を。

産業経済部長 国は継続とっている。支払金については新制度とあわせると増額となる。

Q. 災害時の市民への情報提供は？

A. 防災メールにより周知している



ここを聞きました

- 各地域局について
- 火災発生時の市民への周知について
- 定住対策について
- 地域公共交通について
- 市の普通財産について

市民生活部長 特急の上り下りにして何本かは20分程度での乗り継ぎとなっている。今後、乗降者の状況を見ながら検討していく。

黒川 使用されなくなった市有施設の処分について、危険な施設、物件については早く処分撤去し、跡地について有効活用をすべきではないか。

総務部長 危険施設については、危険かどうか調査はしていないが、12施設あり、処分について随時検討していく。

黒川 火災発生時や災害時、市民にはメールにより情報が提供されているが、それ以外にどのような方法で周知しているのか。

消防長 基本的には、防災メールの登録をしていただき周知している。

黒川 成羽地域局管内のサイレンについては、どのようになっているのか。

消防長 現在、3カ所の修理は完了しているが、今後6カ所のサイレンを修理していく。

黒川 定住対策の観点から、高梁市の産科がなくなったことについてどう考えているか。

健康福祉部長 産科医師数の減少や医療施設の整備等、非常に困難な状況である。

黒川 高梁駅に停車する特急へのバス乗り継ぎについて、周辺地域の利用者の便益を考えているのか。

